



令和4年2月16日発行



# 埼玉地域清掃だより

## 第1号



広報誌HP

WEBを通じた活動紹介に加え、広報誌を通して他団体の活動状況を知ること、活動の輪を広げるきっかけづくりや清掃活動における機運醸成を図っていきたくと考えています。併せて当課から環境に係るトピックの紹介もさせていただきます。

### 地域清掃活動団体について

- 目的** 地域環境の保全や美化に取り組んでいるNPOや企業、学校等を地域清掃活動団体として登録し、活動内容の紹介や清掃用品の提供等の支援を行う。公益社団法人食品容器環境美化協会が実施するアダプトプログラム助成制度との連携も図り、地域における積極的な清掃・美化活動の促進を図るものである。
- 登録要件** ・団体構成員が5名以上であること  
・活動頻度が年1回以上であること
- 団体数** 868団体（令和4年1月1日）  
※とても簡単、誰もが気軽に参加できます。



登録申請書



活動報告書

清掃で使う軍手とごみ袋を登録団体に提供させていただきます！  
当課まで取りに来ていただく必要があること、また数の調整をさせていただくことがございます。



### プレゼント企画のお知らせ

日頃の活動に感謝を込めて、別添「プレゼント申込書兼アンケート」を御提出いただいた団体の中から抽選で、コバトンハンドタオル4色×2セット（計8枚非売品）をプレゼントします。

なお、当選結果はプレゼントの発送をもって、かえさせていただきます。

（R4.3月上旬発送予定）



秋のプラごみゼロウィークには50団体に参加していただきました。今回はその中で2団体の活動を紹介させていただきます！

### (株)ジャパンビバレッジエコロジー

- 活動日：** 令和3年10月13日(木) **参加人数：** 9名 **活動場所：** 会社周辺（さいたま市）
- 活動内容：** 3班に分かれ予め決めたルートでゴミ拾いをし、重さを班対抗で競いました。
- 感想：** 空缶や傘、中には大量のハマグリの貝殻などの変った物まであり、驚き・楽しみながら拾うことが出来ました。また新たな取組みとして、ゴミ拾いアプリ「ピリカ」に登録し活動を共有できた事もよかったです。
- 一言PR：** 当工場では飲料空容器のリサイクル処理をしております。ポイ捨てすればゴミになってしまいますが、きちんとルールを守って捨てれば資源になります。ぜひ、ご協力をお願いします！



### なみやなぎはな 双柳花のロード隊

- 活動日：** 令和3年10月24日（日） **参加人数：** 35名
- 活動場所：** 飯能市双柳地内 駅前通りの一部
- 活動内容：** 7月に種まきした「黄花コスモス」の除去作業及び周辺の清掃作業
- 感想：** 今回の作業目的は長期間咲いてくれたコスモスの除去作業と11月作業予定の「花苗植栽」の準備、周辺の清掃作業です。飲料缶などのごみがありました。参加者皆さん、元気に和やかに活動に当たっていただきました。
- 一言PR：** 私達双柳花のロード隊の活動は、「町に花を」「花いっぱい」を合言葉に。年間4～5回の活動を目標としております。参加資格は、設定していません。ご参加をお待ちしております。



## ● 彩の国「新しい生活様式」における地域清掃活動10のポイントについて

- 1 清掃日時や場所を分散させ、密集を避ける。
- 2 一緒に活動するメンバーと十分な距離(2メートル以上)を確保する。
- 3 活動前の体温計測による体調不良者の参加制限やメンバーの連絡先の把握を徹底する。
- 4 手袋・マスク等を装着し、長袖・長ズボンを着る。
- 5 活動の開始・終了時や休憩時における密集を防止するとともに、対面での飲食や会話を控える。
- 6 なるべくトングを使用し、ごみに直接触れない。
- 7 手袋やトングなどの物品を共有せず、使用後の消毒を徹底する。
- 8 ごみ袋の空気を抜き、しっかり縛って封をする。
- 9 活動終了後はうがい・手洗いや手指の消毒を徹底する。
- 10 家に帰ったら、できるだけすぐ着替える、シャワーをあびる。



地域清掃活動  
10のポイント



## ● 使用済みリチウムイオン電池の分別に御協力を

スマートフォンや加熱式たばこなどの家電製品の中には、リチウムイオン電池といった小型の蓄電池を使用した製品があります。ごみ収集車が収集運搬したリチウムイオン電池に衝撃が加わった際、発火する危険性があります。事業者及び県民の方におかれましては、市町村の指示に従って分別して排出してください。ご協力をお願いします。



画像提供：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会



ごみ収集車での発火事故の様子

写真提供：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

リチウムイオン電池の正しい捨て方の動画はこちら  
(環境省出典)



## ● 食品ロス削減に御協力を

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」と言います。

日本全体で年間約600万トン発生していると推計されており、これは1人1日当たりお茶碗1杯分(130g)の食品を捨てている計算です。食品ロスには家庭系と事業系があり、埼玉県食品ロス量の推計では、家庭系の方が事業系よりも多くなっています。食品ロスの削減には、私たち一人一人が食品ロスを出さないように意識し、行動することがとても大切です。

- ✓ 定期的な冷蔵庫の整理
  - ✓ 買い物前の在庫チェック
  - ✓ 買い物での手前どり
  - ✓ 食材の上手な保存
  - ✓ 食材を使い切る調理
- など、できることから始めてみませんか。



食品ロス事例集



食品ロス削減レシピ

県では、食品ロス削減の取組事例や食品ロス削減レシピをHPで公開しています。参考にご覧ください。

## ● 事業系ごみの削減を！

現在埼玉県では年間約54万トンの事業系ごみが排出されています。ごみの最終処分場の残余容量がひっ迫している中、ごみの削減は重要な課題です。限りある資源を有効に活用するためにも、一層のごみの減量・リサイクルに取り組みましょう。

### 今からできる事業系ごみ削減の取組

- ✓ 事業所からごみがどれ位出ているか調べてみよう！
- ✓ ごみ箱に分別が簡単になる掲示をしてみよう！
- ✓ できることからごみの分別を増やしてみよう！  
まずは紙ごみから！？



### 埼玉県での取組

- ・毎年6月・10月を「事業系ごみ削減キャンペーン」と位置付け、市町村や商工会等の協力のもと、リーフレットの配布
- ・市町村などからの要請をうけ、講習会への講師派遣事業の実施
- ・大型店舗などに直接お伺いし、取組や改善事項についてヒアリングの実施

